

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-284	高等学校	芸術	音楽 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27-教芸	音 I -702	高校生の音楽 I		

1. 編修の基本方針

私たちは、芸術科（音楽）の学習を通して、教育基本法第二条の目標を達成するために、次の 1 ~ 4 を編修の基本方針としました。

教育基本法

第二条（教育の目標）

教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

下線部分は特に留意した点

1 自分の感性を軸にする

2 自分の頭で物事を捉え直す

3 自分の体を動かす

4 他者と対話をする



(p.4-5)

1 自分の感性を軸にする

これまでの経験や学習で培われた自分自身の感性を学びの軸とします。

(p.46-47)



2 自分の頭で物事を捉え直す

幅広い知識と教養に触れ、自分なりの考えをもつことを目指します。

(p.32-33)



3 自分の体を動かす

自分の体を実際に動かし、感じ取ったことを学びにつなげます。

(p.60-61)



4 他者と対話をする

考えたことや感じたことを他者と共有し、さらに学びを深めます。

(p.50-53)



2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
音楽って何だろう？	他者の多様な考え方を尊重し、自ら真理を求める態度を養うために、「音楽って何だろう？」という問いに対する古今東西の考え方を掲載しました。(第一号、第五号)	p.2-3
	自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、森山未来さんの表現に対する思いを掲載しました。(第三号)	p.4-5
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、「音楽って何だろう？」という問いに対する考えを深めるワークシートと事例を掲載しました。(第一号)	p.32-33
	幅広い知識と教養を身に付け、生活との関連を重視し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、世界各地の音楽や身近な音楽のあり方をさまざまな視点から掲載しました。(第一号、第二号及び第五号)	p.54-55 p.68-69 p.124-125
	真理を求める態度を養うために、身近なものについて音楽的な視点を投げかけ、考えるための道筋を示す内容を掲載しました。(第一号、第四号)	p.166-167
歌唱	豊かな情操と道徳心を培い、自他の敬愛と協力を重んじ、生命を尊ぶ態度を養うために、理想的な世界を希求する歌を掲載しました。(第一号、第三号及び第四号)	p.8-11
	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うために、日本人作曲家による歌を掲載しました。(第五号)	p.12-13 p.74-75 p.92-99
	幅広い知識と教養を身に付け、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、さまざまな形態の外国の歌を掲載しました。(第一号、第五号)	p.14-19 p.70-73 p.76-91 p.100-111
器楽	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、主体的に社会の形成に参画する態度を養うために、パートに分かれて合奏する教材を掲載しました。(第二号、第三号)	p.20-23 p.112-119
	幅広い知識と教養を身に付け、創造性を培い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、ベネズエラ音楽による、自ら自由に組み合わせながら演奏する器楽教材を掲載しました。(第一号、第二号及び第五号)	p.24-25
	伝統と文化を尊重し、個人の能力を伸ばすために、箏と三線の教材を掲載しました。(第二号、第五号)	p.26-27 p.120-121
創作	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うために、自らのイメージをもとに、協働しながら進める教材を掲載しました。(第二号、第三号)	p.28-31 p.122-123
鑑賞	幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、西洋音楽のさまざまな形態の音楽を時系列に沿って掲載しました。(第一号、第五号)	p.34-53
	幅広い知識と教養を身に付け、生活との関連を重視し、生命を尊び、自然を大切に、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、ガムランとイタラケを、それぞれに適した視点から掲載しました。(第一号、第二号、第四号及び第五号)	p.56-59
	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うために、雅楽、能、歌舞伎、沖縄・奄美群島のさまざまな音楽から、学習に適した教材を掲載しました。(第五号)	p.60-67
著作権	正義と責任を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、著作権に関する理解を深める内容を掲載しました。(第三号)	p.126-127
その他の資料	幅広い知識と教養を身に付け、個人の能力を伸ばすために、西洋音楽史、ポピュラー音楽のジャンル、日本音楽の流れ、日本の民謡と民俗芸能、楽器の図鑑、音楽史年表、西洋音楽の楽典、オーケストラの編成、楽器の奏法、各言語の発音に関する資料を掲載しました。(第一号、第二号)	p.128-165

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-284	高等学校	芸術	音楽 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27-教芸	音 I -702	高校生の音楽 I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的で深い学びの実現を目指しました。

「音楽って何だろう?」という問いを出発点として、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実現を目指します。



(p.2-3)

2 音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を図りました。

それぞれの音楽が、生活や社会の中でどのような意義や役割をもっているかを学びます。



(p.58-59)



(p.66-67)

3 生きて働く「知識・技能」の習得を目指しました。

幅広い知識と技能を習得し、充実した鑑賞活動につなげます。

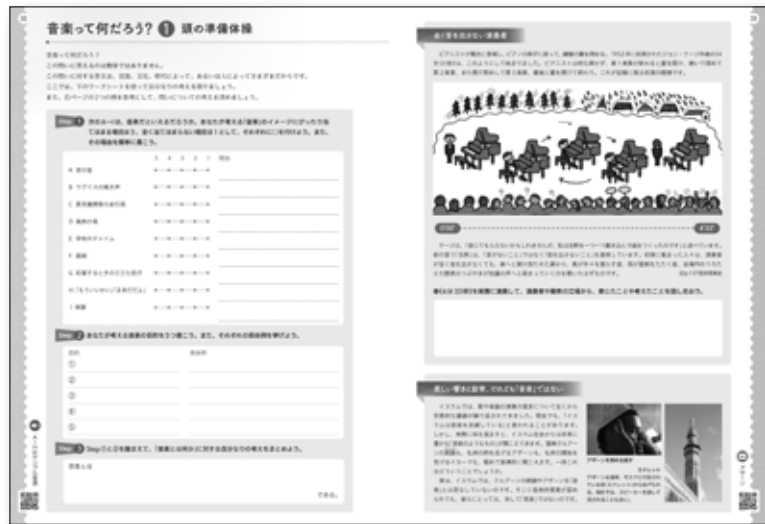
(p.62-63)



4 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指しました。

これまでの経験や学習で培われた自分自身の感性を軸に、自分の頭で思考・判断・表現することを促します。

(p.32-33)



5 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指しました。

音楽の学習を通して、どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るかを考えます。

(p.36-39)



6 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次の点を重視して編修しました。 <ol style="list-style-type: none"> ①自分の感性を軸にする。 ②自分の頭で物事を捉え直す。 ③自分の体を動かす。 ④他者と対話をする。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された芸術科（音楽）の目標を踏まえ、指導すべき内容項目を全て押さえました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の内容に示された学習が段階的に進められるように、また上下の学年における学習とのつながりも考慮して教材を選択・配列しました。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習がスムーズに行えるよう学習目標及び教材を配列し、教材や文章の分量も適切になるように配慮しました。
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度を吟味しました。
	器楽教材	<ul style="list-style-type: none"> ●各楽器の特徴を理解し、その表現活動に必要な基本的な技能を習得できるように内容を精選しました。
	創作教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで生徒の思考の例を明示することによって、生徒の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるよう工夫しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の発達段階や学習のねらいに合ったものを選択し、学習を進めるうえで有益な写真や譜例、資料などを合わせて示しました。
	伝統文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国の伝統的な音楽に親しみながら、それらのよさを感じ取り、愛着をもつことができるようにしました。
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育や外国語の学習との関連から、外国語の歌を多数掲載しました。
	社会とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ●生活や社会と音楽とのつながりを実感できる資料を数多く掲載しました。
その他	ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードに埋め込まれた URL を読み取ることによって、指導に資する画像などのコンテンツを閲覧することができるようにしました。
	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、学習活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。
		<ul style="list-style-type: none"> ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けが付きにくい生徒の色覚特性にも配慮した配色を採用しました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。 ●カラーページとモノクロページに分け、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明に印刷されるよう工夫しました。製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっています。再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分配慮しています。 	

2. 対照表

図書構成		学習指導要領の内容																										
ページ	教材名	歌唱						器楽						創作			鑑賞		音楽を形づくっている要素									
		ア		イ		ウ		ア		イ		ウ		ア	イ	ウ	ア	イ	音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成		
		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)									(ウ)	
8	翼をください	○	○	○	○	○	○																				○	
10	魔法みたいに	○	○	○	○	○	○																					
12	この道	○	○	○	○	○	○																					○
14	黒い猫が欲しかった	○	○	○	○	○	○																					
16	野ばら (シューベルト作曲)	○	○	○	○	○	○																					○
17	野ばら (ヴェルナー作曲)	○	○	○	○	○	○																					○
18	愛の讃歌	○	○	○	○	○	○																					○
20	クラッピング カルテット第1番							○	○	○	○	○	○	○														○
22	Happy Birthday To You							○		○	○	○	○	○														
24	ホローポによるリズムゲーム							○	○	○	○	○	○	○														○
26	六段の調 初段 (冒頭)							○	○	○	○	○	○	○														
28	詩、短歌、俳句をもとにして音楽をつくろう														○	○	○	○										○
34	メヌエット																											○
35	タンブラン																											○
36	交響曲第9番 第4楽章																											○
40	菩提樹 連作歌曲集《冬の旅》から																											○
42	ポロネーズ第6番 (英雄)																											○
44	オペラ 椿姫																											○
46	交響詩 魔法使いの弟子																											○
48	ミュージカル ウェストサイドストーリー																											○
50	混声合唱とオーケストラのためのカンタータ 土の歌																											○
56	ガムラン ランチャラン マニャルセウ																											○
58	音楽旅行記 地球の裏側の音楽を求めて～ボリビア～																											
60	雅楽 陵王 ～舞楽～																											○
62	能 高砂																											○
64	歌舞伎 京鹿子娘道成寺																											○
66	沖縄・奄美群島のさまざまな音楽																											

ページ	教材名	歌唱						器楽						創作			鑑賞		音楽を形づくっている要素									
		ア		イ		ウ		ア		イ		ウ		ア	イ	ウ	ア	イ	音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成		
		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)									(ウ)	
70	半月	○	○	○	○	○	○																					
71	ねずみは米が好き	○	○	○	○	○	○																					
72	オーシャンゼリゼ	○	○	○	○	○	○																					
73	平原の魂	○	○	○	○	○	○	○	○																			○
74	さびしいカシの木	○	○	○	○	○	○																					
76	カーロ ミオ ベン	○	○	○	○	○	○																					○
78	我が太陽	○	○	○	○	○	○																					
80	アヴェ マリア	○	○	○	○	○	○																					
82	君を愛す (優しき愛)	○	○	○	○	○	○																					
84	歌の翼に	○	○	○	○	○	○																					
86	誰も寝てはならぬ	○	○	○	○	○	○																					
88	乾杯の歌	○	○	○	○	○	○																					
90	私を泣かせて	○	○	○	○	○	○																					○
91	かつて木陰は	○	○	○	○	○	○																					
92	荒城の月	○	○	○	○	○	○	○	○																			
94	ふるさと	○	○	○	○	○	○	○	○																			
95	時の旅人	○	○	○	○	○	○	○	○																			○
98	大地讃頌	○	○	○	○	○	○	○	○																			
100	野ばら (ヴェルナー作曲・合唱)	○	○	○	○	○	○	○	○																			
102	アヴェ ヴェルム コルプス	○	○	○	○	○	○	○	○																			
103	荒れ野に御使い	○	○	○	○	○	○	○	○																			
104	Amazing Grace	○	○	○	○	○	○	○	○																			
106	カントリー ロード	○	○	○	○	○	○	○	○																			
107	風に吹かれて	○	○	○	○	○	○																					
108	A Whole New World	○	○	○	○	○	○	○	○																			
109	Tonight	○	○	○	○	○	○	○	○																			
110	Oh Happy Day	○	○	○	○	○	○	○	○																			
112	威風堂々									○	○	○	○	○	○	○												
113	木星									○	○	○	○	○	○	○												
114	America									○	○	○	○	○	○	○												
116	Imagine									○	○	○	○	○	○	○												
118	いつも何度でも									○	○	○	○	○	○	○												
120	ていんさぐぬ花									○	○	○	○	○	○	○												
121	六段の調 初段 (全曲)									○	○	○	○	○	○	○												
122	《きらきら星》の旋律で音楽をつくろう																◎	◎										◎